

I. ごあいさつ

阪神電車をご利用いただくとともに、阪神グループにご愛顧賜りまして、誠にありがとうございます。また、沿線の皆様には、鉄道事業へのご理解とご支援を賜り、改めて御礼申し上げます。

当社では、輸送の安全水準の維持及び向上を図るため、平成18（2006）年10月に安全管理規程を制定し、今日まで、管理体制を一層整備するなど、安全確保に最善を尽くしてまいりました。今後も社員一同、気を引き締め、安全運行に努めてまいります。

さて、当社では、昨年の阪神なんば線の開通により営業路線が拡大したことに伴い、「安全施策 2009」の安全重点施策の一つとして「阪神なんば線における安全輸送の確立」に取り組みました。具体的には、阪神なんば線での実務を通して、策定した作業手順書等を改めて確認するとともに、必要に応じて見直しを図るなど、その安全性の更なる向上に努めました。

平成 21(2009)年度におきましても、安全目標の「責任事故ゼロの継続」を達成することができ、24年 11 か月間の責任事故皆無に対する近畿運輸局長表彰を頂いております。

安全目標の達成は、安全への取組みの集大成ですが、責任事故にまで至らない小さなミスやトラブルに対しても、見過ごすことなく、教育、情報共有、分析などを継続して行うことにより、「責任事故」だけでなく、事故を誘引する「トラブル、ミス」そのものを限りなく「ゼロ」に近づけるよう努力することが大切です。このヒューマンエラーを1件でも未然に防ぐための地道な取組みこそが、安全確保の大きな礎の一つであり、私どもに求められていることだと考えております。

引き続き、お客様に安全・安心・快適をお届けし、お客様から信頼していただけるよう、PDCAサイクルを意識した種々の施策により、安全管理体制の強化に最善を尽くしてまいります。

以下に「安全報告書 2010」として、当社の安全推進に対する各種の取組み、実績などをご報告申し上げます。



阪神電気鉄道株式会社
取締役社長

坂井 信也

平成 22 年 9 月